2026年11月16日

各　位

上 場 会 社 名　株式会社サニックスホールディングス
代表者役職氏名　代表取締役社長　宗政　寛
（コード番号４６５１ 東証スタンダード市場・福証）
問 い 合 せ 先　取締役
経営企画本部長　森口　俊彦
TEL 092-284-5072

特別損失の計上並びに第２四半期（中間期）業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2027年３月期第２四半期（中間期）において、特別損失（減損損失）を計上いたしました。また、2026年５月15日に公表いたしました2027年３月期第２四半期（中間期）業績予想と本日公表の実績値に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

特別損失を計上したことを踏まえ2026年５月15日に公表した連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

１．特別損失の計上について

当社グループは、連結子会社である株式会社サニックスにおける次期基幹システムについて、ＡＩ技術を活用したシステム開発を進めておりましたが、自社の要求水準を満たさない状態になったことに加え、当初想定を上回る追加開発費用と期間を要することが判明いたしました。これ以上の投資継続は将来の財務リスクを高めると判断し、直ちに開発を中止のうえ、減損損失257百万円を特別損失として計上いたしました。

２．2027年３月期 第２四半期（2026年４月１日～2026年９月30日）連結業績予想と実績との差異

（単位：百万円）

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	一株当たり中間純利益
前回発表予想（Ａ）	22,178	461	335	217	4.54円
第２四半期累計期間実績（Ｂ）	22,090	737	570	115	2.42円
増減額（Ｂ－Ａ）	△88	275	235	△101	－
増減率（％）	△0.4	59.7	70.2	△46.7	－
（ご参考） 前期第２四半期実績 （2026年３月期第２四半期）	21,502	△19	△407	△613	△12.84円

・差異の理由

売上高につきましては、概ね前回発表予想どおりの着地となりました。営業利益につきましては、エネルギー領域において、太陽光発電市場の競争激化にともなう売上未達による減益に加え、法規制や施工に対する要求水準の厳格化等による環境変化により外注コストが増加したことから、当初予想を下回りました。

一方で、資源循環領域では、発電事業において中東情勢等による影響により卸電力取引市場価格が上昇したことにともない売電単価が上昇したことから増益となり当初予想を上回りました。

これらを主な要因として、営業利益、経常利益が予想との間で差異が生じました。また、親会社株主に帰属する中間純利益につきましては、「１．特別損失の計上について」に記載のとおり、特別損失として 257 百万円計上したことにともない予想との間で差異が生じました。

３．2027 年３月期通期連結業績予想の修正について

（単位：百万円）

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	一株当たり当期純利益
前 回 発 表 予 想 （ Ａ ）	47,301	1,837	1,578	1,002	20.96 円
今 回 修 正 予 想 （ Ｂ ）	47,301	1,837	1,578	545	11.40 円
増 減 額 （ Ｂ － Ａ ）	－	－	－	457	－
増 減 率 （ ％ ）	－	－	－	△45.6	－
(ご参考) 前期実績(2026 年３月期)	45,291	1,272	727	421	8.82 円

・修正の理由

売上高、営業利益及び経常利益につきましては、前回発表の業績予想から変更はございません。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、「１．特別損失の計上について」に記載のとおり、特別損失として 257 百万円計上したことに加えて、設備更新にともなう既存資産の除却損を計上したこと、また、下期に、遊休資産（固定資産）の売却などを計上する見込みであることから、前回発表予想を下回る見込みとなり、上記のとおり業績予想を修正いたします。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上